

1、本線道床混凝土擁壁
76K600M附近

山田線陸中川井宮古間 線路開通に就て

鐵道省盛岡建設事務所長

岡 田 實



2、第27閉伊川橋梁及第二西家隧道を望む。78K附近。

本區間は東北本線盛岡市を起點とし、重疊せる北上山脈を横斷し太平洋岸に達し、更に鐵鑛の産を以て聞ゆる釜石町に至る山田線の一部を成す。

而して本區間の開通に依り、盛岡市と三陸沿岸の良港宮古町との連絡完成し、山田線盛岡釜石間線路建設事業に於ける一半の大使命を果せるものなり。

盛岡宮古間線路は延長101軒242米、此工費18,703,033.00圓にして、1軒當り184,735.00圓大正十年十月第一工區盛岡上米内間の工事に着手してより13年余の歳月を關して、初めて

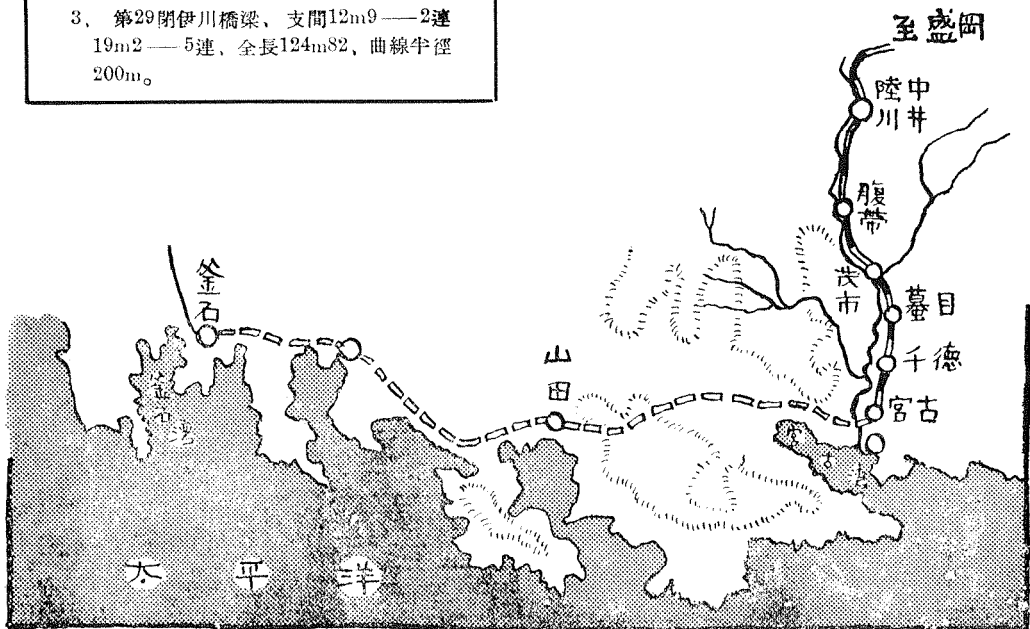
汽笛の音を太平洋の波に和するを得たり今更に今回開通區間の詳細を述べれば次の如し。

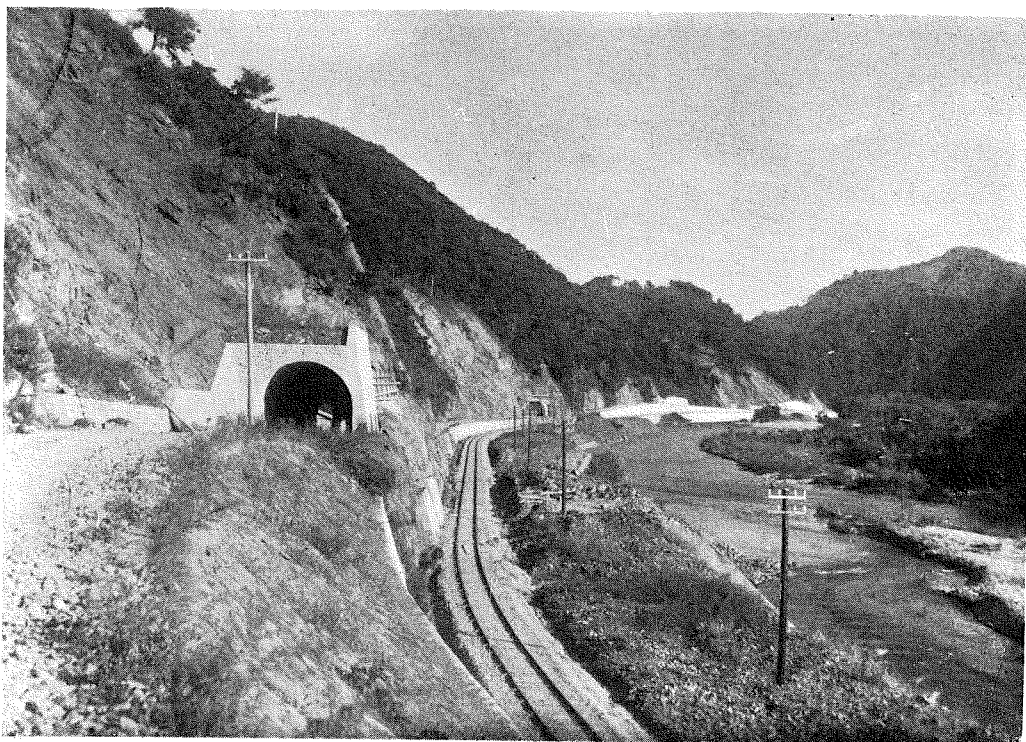
山田線陸中川井宮古間線路概要

本區間の線路は岩手縣下閉伊郡川井村大字川井地内盛岡起點72,613米40に起り、閉伊川流域を迂曲漸進し、橋梁を設くる事五ヶ所、(第23閉伊川乃至第27閉伊川)、溪谷を縫ひ山脚の迫れる所裝岩及第1、第2西家の3隧道を貫き、縣道を踏切ること3回、盛岡起點78,200米附近に於て同郡茂市村に入り、三つ石隧道を穿ち、閉伊川に架橋(第28及第29閉伊川)し、



3、第29閉伊川橋梁、支間12m9—2連
19m2—5連、全長124m82、曲線半徑
200m。





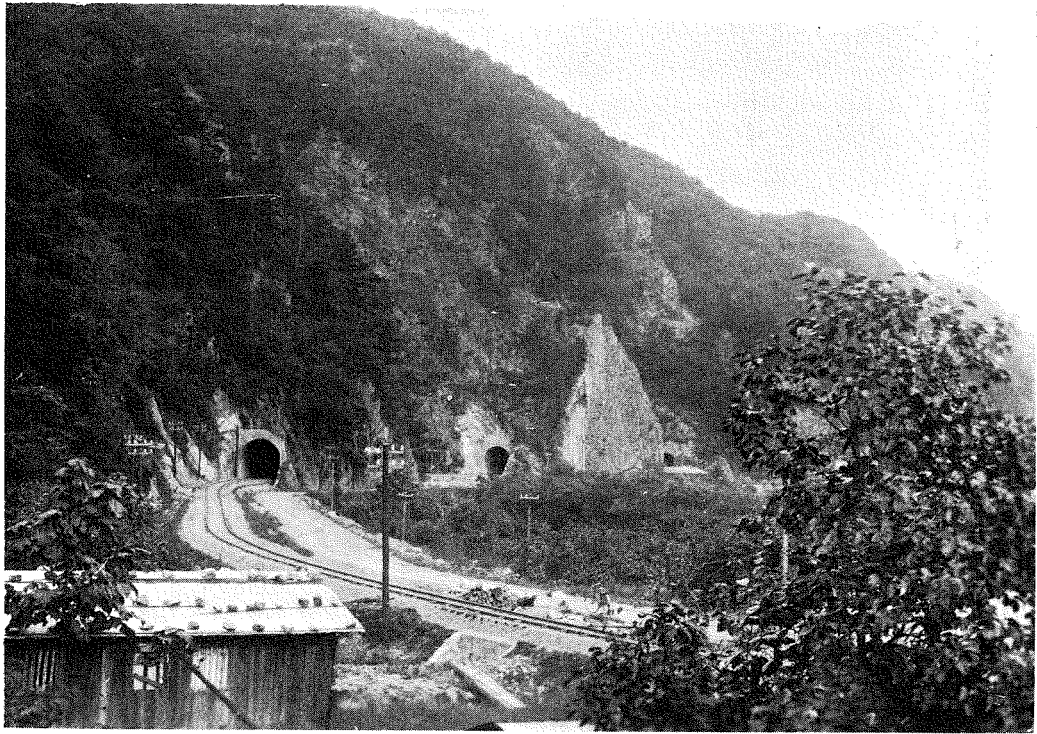
4、本線と道路付替の隧道。
90k500より以來を望む。

左岸に移り縣道を踏切り同村大字腹帶地内に腹帶停車場(盛岡起點 80杆670)を設置す。

是れより線路は閉伊川の左岸を山麓に沿ひ右折左轉、再び縣道と駢進し、腹帶、茂市の二隧道を穿ち、同村大字茂市部落に至り、茂市停車場(盛岡起點84杆60)を設置し、直に閉伊川に2橋梁(第30及第31閉伊川)を架し、左旋して太長根部落を過ぎ、右曲閉伊川(第32閉伊川)を渡り、大平隧道(延長446米)を鑿ち四度閉伊川(第33閉伊川)を越へ、縣道と交錯すること二回、更に左轉し同村大字臺目に至り、臺目停車場(盛岡起點89杆630米)を設け

飛の澤及二又川の合流點に臺目川橋梁を架し右回して縣道を左側に付替、閉伊川の流域を進み同郡千徳村大字花原市に入り縣道を横斷し、左折右轉之と並行し、門神岩の斷崖に三隧道を貫き、山脚を填鑿し紆余漸進同村大字根市部落を過り、花輪、千徳兩村唯一の連絡花輪橋附近の丘嘴に根市隧道(延長106米)を開鑿し、大字千徳、上鼻の耕野に千徳停車場(盛岡起點96杆90米簡易)を設く。

是より路線は耕野の間を縣道と駢進し、近内川を越へ山 口村を掠めて同郡宮古町に入り、同町の西南端宇八幡前の平圓に宮古停車



5、第一、第二、第三門神隧道。
92k800m附近。

場(盛岡起點100杆140米)を設置し、100杆500
米に終る。

工 事 概 要

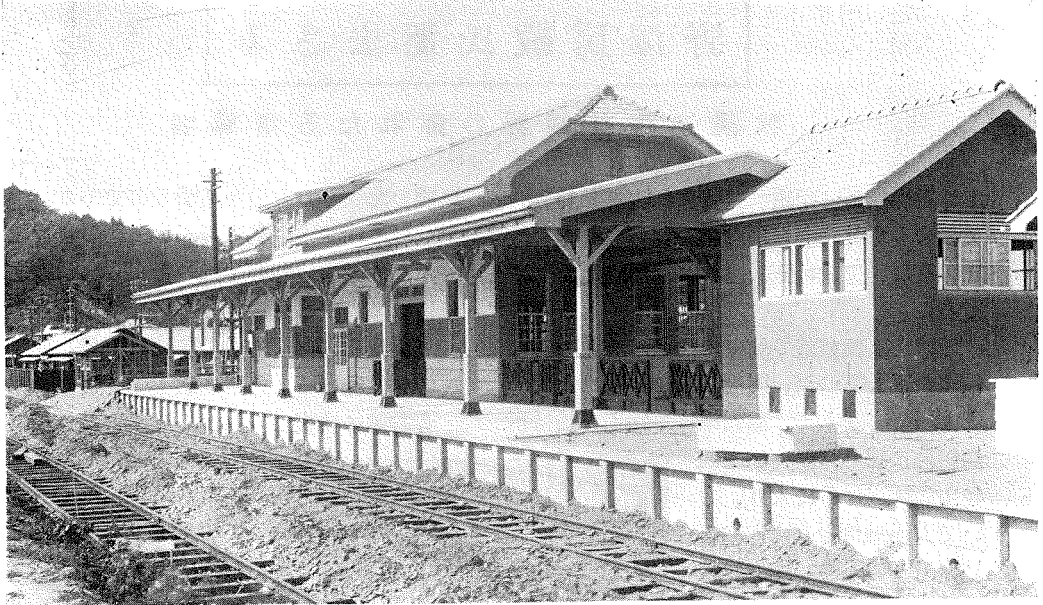
起 工 昭和七年二月二十二日
 竣 功 昭和九年十一月六日
 區 間 既設陸中川井、宮古間
 工 區 第13工區 川井 古田間
 請負人 鐵道工業株式會社
 第14工區 古田 腹帶間
 同 同
 第15工區 腹帶 茂市間

同 同
 道16工區 茂市 臺目間
 同 鹿 島 組
 第17工區 臺目 宮古間
 同 鐵道工業株式會社
 延 長 28,618米82
 勾 配 最急25/1000
 曲 線 最小半徑200米
 築 堤 583,381立米
 切 取 352,771立米
 橋 梁 18ヶ所 延長1,405米39
 隧 道 14ヶ所 延長1,984米5



6、 宮古停車場より宮古港を望む。
中央が宮古驛、右手は機關庫。

用地	414,012平米	建物費	102,489,647圓
停車場	腹帯、茂市、臺目、千徳、宮古	防火防雪費	23,195,490圓
工事費		運送費	70,292,265圓
測量費	57,184.912圓	建築用汽車費	11,648,211圓
用地費	166,279.150圓	用具費	200.000圓
土工費	965,933.200圓	柵垣及境界杭費	4,081.270圓
橋梁費	369,479.915圓	電線費	46,486.460圓
溝渠費	21,458.545圓	合計	2848,912,594圓
伏樋費	19,322.594圓	1米當り	99.512圓
隧道費	523,434.815圓		(以上)
軌道費	372,152.620圓		
停車場費	95,273.500圓		



7、宮古停車場本室。

8、宮古海岸浄土ヶ濱。

